

施策評価シート

【施策の概要】

		登録者(課長)名【1】	都市計画課長 東原 隆		
		主管課(関係課)【2】	都市計画課(道路建設課、企画政策課、再開発課)		
施策名【3】		分野【4】	まちづくりの方向性【5】		
安1-1 住みやすい住環境の創造		快適な日常生活のために	安全で快適に暮らすまちづくり		
概要	施策全体の課題【6】		施策実現へむけたキーワード【7】	施策の目標【8】	
	進展する都市開発と調和の取れた良好な景観整備が必要です。また、高齢者の増加に対応するため、公共施設や住宅などのバリアフリー化を促進する必要があります。駅周辺の公共施設の整備については、市民や事業者と連携して各地域の特性にあわせながら検討していく必要があります。		・都市開発の進展や人口増加、高齢化などの社会状況の変化に対応した良好な景観整備 ・バリアフリー化の推進 ・各地域の特性に応じた駅周辺の整備の推進	市民、事業者及び行政が協働し、計画的にまちづくりを進めることにより、住みやすい暮らしの空間を創ります。	
	留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】				
特になし					
事業群	事業群名【10】		事業群の施策上の位置づけ【11】		
	1	美しいまちなみへの取組を進めます	自然と都市機能の調和した良好な都市づくり		
	2	すべての人に利用しやすいまちづくりを進めます	人にやさしいまちづくりの推進		
	3	魅力ある居住空間を形成します	環境に配慮した魅力ある居住空間の推進		
	4	駅周辺の利便性を向上させます	駅周辺のまちづくりの推進		

【施策の成果】

			年度	19	20	21	22	23	24	
成果指標【12】	指標1	名称	地区計画決定数	目標値	5地区			単位	地区	
		算出式・説明	住みやすい暮らしの空間を創造するために、西東京市内各区域の特徴に合わせた実効性のある地区計画の決定を進める必要があります。	実績値	2	3	3			
		達成率	40%	60%	60%	0%				
	指標2	名称	「ポイ捨て・路上喫煙防止地区」の指定地区数	目標値	5地区			単位	地区	
		算出式・説明	まちの環境美化のため、環境美化キャンペーンの実施や「ポイ捨て・路上喫煙防止地区」を指定してポイ捨てや路上喫煙に対するマナー、ルールの徹底を呼びかけることにより、市民が自主的な清掃活動に取り組みやすい環境づくりを進めています。	実績値	1	1	2			
		達成率	20%	20%	40%	0%				
	指標3	名称	西東京都市計画道路3・4・21号線用地取得率	目標値	100%			単位	%	
		算出式・説明	多くの市民が利用する駅周辺の整備を進めることによって、より安心して安全に利用できるようにします。そのために、ひばりヶ丘駅周辺の用地買収を計画的に進め、安心して通ることができる道路整備を進める必要があります。	実績値	0	0.4	10			
		達成率	0%	0%	10%	0%				
	指標4	名称	保谷駅南口地区市街地再開発事業	目標値	1件			単位	件	
		算出式・説明	保谷駅南口地区市街地再開発事業は、駅前の交通環境の改善や、商業の活性化のためにも必要不可欠であり、市民の皆さまより期待されている事業です。この再開発事業の早期完了をめざして事業に取り組んでいます。指標については、事業完了を「1」として設定しています。	実績値	0	0	0			
		達成率	0%	0%	0%	0%				
達成率の平均値				15%	20%	28%	0%			

【市民意見】【13】

平成19年度		平成22年度		
満足度(%)	24.1%	満足度(%)	23.6%	満足度(%)
満足度(平均ポイント)	-0.42	満足度(平均ポイント)	-0.19	満足度(平均ポイント)
重要度(%)	76.3%	重要度(%)	73.9%	重要度(%)
重要度(平均ポイント)	1.11	重要度(平均ポイント)	1.08	重要度(平均ポイント)

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】	<input checked="" type="checkbox"/> まだ未達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 目標を大きく上回る	
		意識調査での満足度【15】	<input type="checkbox"/> 平均を下回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ平均 <input type="checkbox"/> 平均を上回る	
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】	<input type="checkbox"/> 弱くなっている <input checked="" type="checkbox"/> 以前と同程度 <input type="checkbox"/> 強くなっている	
		意識調査での重要度【18】	<input type="checkbox"/> 平均を下回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ平均 <input type="checkbox"/> 平均を上回る	
総合評価	施策内容の方向性【20】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み		
		<input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 効率化		
総合評価	判断理由等【24】	施策実施コストの方向性【21】		
		施策実施方針【22】		
総合評価	判断理由等【24】	施策実施方針【22】		
		施策実施方針【22】		

施策の成果と課題【16】
 ◇良好な景観の整備については、地区計画を決定することにより秩序あるまちなみの確保に努めてきました。現在、都市計画道路の沿道やひばりヶ丘駅周辺のまちづくりにおける地区計画の決定が重要な課題となっていますが、最近の都市開発の状況と合わせて見ると、必要な労力と時間が膨大であるのに対し、マンパワーの不足が懸念されます。
 ◇人にやさしいまちづくりの推進に当たっては、今年度から始めたバリアフリーに関する小規模店舗の改修やベンチの設置に対する助成制度の活用によって進めています。
 ◇市営住宅等のあり方検討については、庁内に部門横断的な検討委員会を設け、西東京市に即した市営住宅等のあり方を議論してきました。
 ◇都市計画道路3・4・21号線(ひばりが丘駅北口線)・市道210号線(ひばりヶ丘駅南口地区地区計画地区幹線道路1号)については、用地買収を行なってきましたが、引き続き道路用地の買収を進め、早期に道路整備を行って安全な歩行空間の形成を図ります。

今後の方針【19】
 ◇良好な景観の整備については、地区計画の決定が有力な方策となりますが、都市計画道路の整備や都市開発の状況によっては、一層この件数の増大が予想されます。その場合に懸念されるマンパワー不足への対策として、今まで以上に専門的な知識と経験を有した、専門事業者の活用が重要と考えます。
 ◇人にやさしいまちづくりの推進については、バリアフリーに関する小規模店舗の改修やベンチ設置に対する助成や制度のPRを図ります。
 ◇市営住宅等のあり方検討については、今後、居住者等の意向の把握にも努めながら、これまで以上に具体的な検討を進めます。
 ◇重要課題である都市計画道路3・4・21号線・市道210号線については、道路用地の買収を精力的に行ない、引き続き高いレベルで計画的に進めていきます。

説明【23】
 なし

判断理由等【24】
 住みやすい住環境の創造については、秩序だったまちなみ整備を先導するための地区計画の決定や、ひばりヶ丘駅周辺の整備・保谷駅南口の市街地再開発等を進めてきたところです。市民意識調査では、満足度・重要度ともに中位であり、施策内容・コストともに現状計画ペースを維持することが妥当と判断しました。なお、老朽化の激しい市営住宅については、公共施設全体の適正配置との関連性にも留意しながら、引き続き検討を進めていくこととします。

【行革本部評価】

総合評価	判断理由等【24】	施策内容の方向性【20】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み
		施策実施コストの方向性【21】	<input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 効率化
総合評価	判断理由等【24】	施策実施方針【22】	
		施策実施方針【22】	

【施策内の事務事業貢献度判定】

安1-1 住みやすい住環境の創造

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】	総コスト(千円) ：評価年度【28】		事務事業 の評価 (直近)【29】	26市の サービス 水準との 比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度 【32】	
				事業費	人件費					
1	良好な景観整備に向けた取組	都市計画課	地域の特性を活かすため、地区計画を策定して、自然と都市機能の調和した良好な都市景観形成の誘導を図ります。	8,232	5,000	3,232	—	—	都市計画道路等の整備により、周辺市街地の環境が大きく変化すると考えられる地域について、地区計画等を誘導しながら良好な都市景観形成の誘導を図ることができます。	A
2	人にやさしいまちづくりの推進、バリアフリー等助成制度	都市計画課	高齢者や障害者、大人も子どももすべての市民の社会的自立や社会参加等を容易にし、住み慣れた地域で豊かな生活ができるように、平成19年12月に西東京市人にやさしいまちづくり条例を制定しました。 また、この条例の規定に基づき、「西東京市人にやさしいまちづくり推進計画」を平成20年度において策定しました。この推進計画の施策として、「補助制度の活用によるバリアフリーの誘導」、また、「まちなかにおける休憩スペースの確保」により、平成21年度において「(仮称)西東京市小規模店舗等バリアフリー改修工事助成金交付要綱」及び「(仮称)西東京市まちなかベンチ設置助成金交付要綱」を策定し、平成22年度より補助制度の実施を図ります。	6,817	5,201	1,616	—	—	西東京市人にやさしいまちづくり条例第7条で規定する「高齢者・障害者等に配慮した人にやさしいまちづくりの推進」、「小規模店舗等のバリアフリー化の推進支援策」等について、この助成制度の創設により、真に市民に求められる実りある事業を進めることができます。	B
	ひばりヶ丘駅バリアフリー化事業【事前】	道路建設課	多くの市民が利用する西武池袋線ひばりヶ丘駅の南口駅前広場の交通環境の改善と歩道等のバリアフリー化を図り、高齢者及び障害者などの全ての駅利用者が安全に歩行ができる駅前広場の整備を検討しています。	0	0	0	—	—	駅前整備をすることにより、駅利用者の駅へのアクセス性と全ての歩行者の安全性の向上を図ります。	B
3	建築基準行政の取組についての検討【事前】	企画政策課	良好な生活環境の確保のために建築確認等の事務の移管について検討していますが、人員の確保や専門職としてのノウハウの蓄積、そのための財源というように幾つかの課題があります。東京都とも勉強会などを開催しながら連携を図り、引き続き検討します。	81	0	81	—	—	良好な生活環境の確保のため、建築基準行政の取組について検討しています。	B
	泉町・東伏見市営住宅のあり方についての検討	都市計画課	老朽化した泉町・東伏見市営住宅の耐震性の確保、維持補修の限界の面からも、早期の対応を図る必要があります。 市営住宅のあり方について、調査・情報収集を図るとともに、市営住宅敷地の今後の有効活用も考慮しながら、その中で市営住宅及び高齢者住宅のあり方について検討します。	3,207	1,591	1,616	—	—	高齢社会に適合した住宅ストックや居住環境の向上を図ることができます。	A
4	ひばりヶ丘駅周辺まちづくりの推進(西東京都市計画道路3・4・21号線)	道路建設課	ひばりヶ丘駅北口と西東京都市計画道路3・4・13号線及び新座都市計画道路3・4・13号線とを結び、ひばりヶ丘駅北口地区の整備を行い交通アクセスを円滑にし、地域の活性化を図ることを目的に事業を実施しています。 道路延長：294m 道路幅員：16m 駅前広場：2,809㎡ (電線共同溝路線)	1,308,069	1,291,909	16,160	継続実施 (平成21年度)	下	ひばりヶ丘駅北口のまちづくりの骨格となる駅前広場及び道路整備を行なう事により、市民生活における利便性・安全性の向上を図ることができます。	A
	ひばりヶ丘駅周辺まちづくりの推進(北口まちづくり)	都市計画課	ひばりヶ丘駅周辺は、商店街・公共施設が集積しており、市民はもとより隣接市からも多くの利用者が訪れ、市内における商圏の中心の一つに位置しています。 ひばりヶ丘駅北口地区については、平成20年2月都市計画道路3・4・21号ひばりが丘駅北口線の事業が始まり、市街地環境が大きく変化することが予想されるため、駅前という立地条件を活かし、鉄道の利便性と賑わいのある商業環境を備えた人にやさしく利便性の高いまちづくりを目指しています。	15,620	3,500	12,120	継続実施 (平成21年度)	中	当該地域に地区の将来のまちづくりの方針となる地区計画を導入していくことにより、個々の建物建替え等に併せ、賑わいのある商業環境を備えた人にやさしく利便性の高いまちへの更新を図ることができるようになります。	A

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】	総コスト(千円) ：評価年度【28】		事務事業 の評価 (直近)【29】	26市の サービス 水準との 比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度 【32】	
				事業費	人件費					
1	良好な景観整備に向けた取組	都市計画課	地域の特性を活かすため、地区計画を策定して、自然と都市機能の調和した良好な都市景観形成の誘導を図ります。	8,232	5,000	3,232	—	—	都市計画道路等の整備により、周辺市街地の環境が大きく変化すると考えられる地域について、地区計画等を誘導しながら良好な都市景観形成の誘導を図ることができます。	A
2	人にやさしいまちづくりの推進、バリアフリー等助成制度	都市計画課	高齢者や障害者、大人も子どももすべての市民の社会的自立や社会参加等を容易にし、住み慣れた地域で豊かな生活ができるように、平成19年12月に西東京市人にやさしいまちづくり条例を制定しました。 また、この条例の規定に基づき、「西東京市人にやさしいまちづくり推進計画」を平成20年度において策定しました。この推進計画の施策として、「補助制度の活用によるバリアフリーの誘導」、また、「まちなかにおける休憩スペースの確保」により、平成21年度において「(仮称)西東京市小規模店舗等バリアフリー改修工事助成金交付要綱」及び「(仮称)西東京市まちなかベンチ設置助成金交付要綱」を策定し、平成22年度より補助制度の実施を図ります。	6,817	5,201	1,616	—	—	西東京市人にやさしいまちづくり条例第7条で規定する「高齢者・障害者等に配慮した人にやさしいまちづくりの推進」、「小規模店舗等のバリアフリー化の推進支援策」等について、この助成制度の創設により、真に市民に求められる実りある事業を進めることができます。	B
	ひばりヶ丘駅バリアフリー化事業【事前】	道路建設課	多くの市民が利用する西武池袋線ひばりヶ丘駅の南口駅前広場の交通環境の改善と歩道等のバリアフリー化を図り、高齢者及び障害者などの全ての駅利用者が安全に歩行ができる駅前広場の整備を検討しています。	0	0	0	—	—	駅前整備をすることにより、駅利用者の駅へのアクセス性と全ての歩行者の安全性の向上を図ります。	B
3	建築基準行政の取組についての検討【事前】	企画政策課	良好な生活環境の確保のために建築確認等の事務の移管について検討していますが、人員の確保や専門職としてのノウハウの蓄積、そのための財源というように幾つかの課題があります。東京都とも勉強会などを開催しながら連携を図り、引き続き検討します。	81	0	81	—	—	良好な生活環境の確保のため、建築基準行政の取組について検討しています。	B
	泉町・東伏見市営住宅のあり方についての検討	都市計画課	老朽化した泉町・東伏見市営住宅の耐震性の確保、維持補修の限界の面からも、早期の対応を図る必要があります。 市営住宅のあり方について、調査・情報収集を図るとともに、市営住宅敷地の今後の有効活用も考慮しながら、その中で市営住宅及び高齢者住宅のあり方について検討します。	3,207	1,591	1,616	—	—	高齢社会に適合した住宅ストックや居住環境の向上を図ることができます。	A
4	ひばりヶ丘駅周辺まちづくりの推進(西東京都市計画道路3・4・21号線)	道路建設課	ひばりヶ丘駅北口と西東京都市計画道路3・4・13号線及び新座都市計画道路3・4・13号線とを結び、ひばりヶ丘駅北口地区の整備を行い交通アクセスを円滑にし、地域の活性化を図ることを目的に事業を実施しています。 道路延長：294m 道路幅員：16m 駅前広場：2,809㎡ (電線共同溝路線)	1,308,069	1,291,909	16,160	継続実施 (平成21年度)	下	ひばりヶ丘駅北口のまちづくりの骨格となる駅前広場及び道路整備を行なう事により、市民生活における利便性・安全性の向上を図ることができます。	A
	ひばりヶ丘駅周辺まちづくりの推進(北口まちづくり)	都市計画課	ひばりヶ丘駅周辺は、商店街・公共施設が集積しており、市民はもとより隣接市からも多くの利用者が訪れ、市内における商圏の中心の一つに位置しています。 ひばりヶ丘駅北口地区については、平成20年2月都市計画道路3・4・21号ひばりが丘駅北口線の事業が始まり、市街地環境が大きく変化することが予想されるため、駅前という立地条件を活かし、鉄道の利便性と賑わいのある商業環境を備えた人にやさしく利便性の高いまちづくりを目指しています。	15,620	3,500	12,120	継続実施 (平成21年度)	中	当該地域に地区の将来のまちづくりの方針となる地区計画を導入していくことにより、個々の建物建替え等に併せ、賑わいのある商業環境を備えた人にやさしく利便性の高いまちへの更新を図ることができるようになります。	A

【施策内の事務事業貢献度判定】

安1-1 住みやすい住環境の創造

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
保谷駅南口地区市街地再開発事業（特別会計繰出金）	再開発課	駅前の土地の合理的な高度利用を図り、防災性の向上及び快適な住環境の整備を図るとともに、交通広場の整備等により交通環境の改善を目的としています。この再開発事業により再開発区域内に施設建築物が2棟（Ⅰ・Ⅱ街区）建ち、交通広場、ビルと駅舎を直接結ぶ歩行者デッキの整備を進めています。 ここでの事業費は一般会計から特別会計に繰出している繰出金としています。 平成20年6月Ⅱ街区施設建築物完成、平成22年10月Ⅰ街区施設建築物完成予定、平成24年3月交通広場完成予定	
事業の合計			

総コスト(千円) ：評価年度【28】	事務事業の 評価(直近)【29】		26市の サービス 水準との 比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度 【32】	
	事業費	人件費				
98,567	96,143	2,424	—	—	ひばりヶ丘駅南口のまちづくりの幹線道路となる道路を整備することにより、市民生活における利便性・安全性の向上を図ることができるようになります。	B
559,840	446,720	113,120	—	—	駅前の商業の活性化、住環境の整備及び交通環境の改善を図ることができるようになります。	A
2,000,433	1,850,064	150,369				